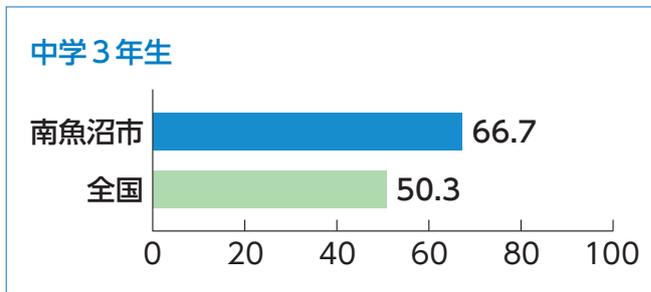
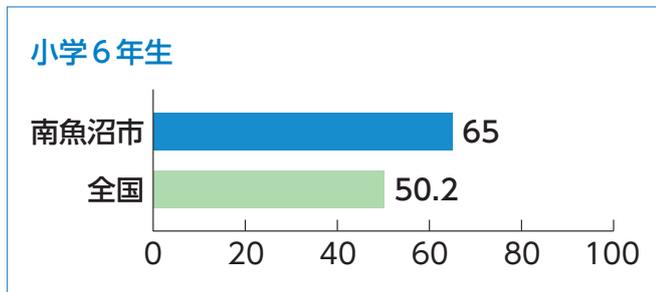


## 2 学習状況などに関する児童生徒の意識調査の結果から

### 平日2時間以上ゲームをしている児童・生徒の割合

「普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか」の質問に対して、「2時間以上」と回答した割合。

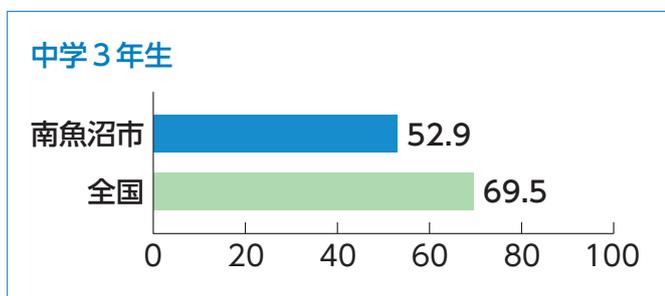


#### 結果の概要

小・中学校とともに全国平均を大きく上回り、土・日曜日も同様の傾向が見られます。特に中学校では「1日当たり4時間以上ゲームをしている」の割合が26.7%（全国：16.3%）となっています。家庭などで過ごす時間をゲームに長時間費やすことで学習時間の減少だけでなく、視力の低下や睡眠不足などの健康上の不安も懸念されます。

### スマートフォンなどの使用ルールの約束を守っている生徒の割合

「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」の質問に対して、「守っている」と回答した割合。



#### 結果の概要

全国の約7割の生徒が約束を守っていると回答したのに対して、南魚沼市では約5割となり全国平均を大きく下回っています。

「テレビゲームの時間」と「スマートフォン使用のルール」について、全国と比べ深刻な状況にあります。ゲームの時間が長いと学力が低下することに明確な因果関係は認められていませんが、ゲームのやり過ぎで学習や睡眠の時間が削られることは間違いありません。そして、それが勉学に悪影響を与えることが考えられます。今まで以上に、家庭での子どもの見守りが大切です。

## 3 学校などでの取り組み

学校では、子どもの学力を高める授業をめざして日々、授業の改善に取り組んでいます。また、学習指導センターによる学校訪問や研修会などにより、授業の改善や充実を図っています。

学力向上には、家庭でも質の高い学習に取り組むことが重要です。学校の指導をもとに子どもが自分自身の課題を見据えた学習や、興味のある分野を迫り学習することなどが大切です。また、家庭でのテレビやゲーム機、スマートフォンなどの電子メディアの使用ルールを守り、規則正しい生活を送ることが家庭学習の充実につながると考えています。

今後も学力向上に向けて、学校と家庭の連携に一層取り組んでいきます。